

「新しい茨城づくり」政策ビジョン（案）にかかるパブリックコメント結果及び意見への対応

【パブリックコメントの期間】

平成29年12月1日から平成29年12月14日まで

【応募人数及び意見総数】

○応募人数 29名（団体） ○意見総数 69件

貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見に対する県の考え方につきましては、下記のとおりです。

なお、本ビジョンは、新たな茨城県総合計画の策定に先駆けて、政策の方向性を示すために策定するものであり、個別の事業や地域については、記載しないこととしております。

【政策ビジョン全般・基本理念】

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
1	政策ビジョン全般	地域づくりのニーズは多様で複合的、総合的です。それに応えるためには、従来から言われている通り、行政の中の縦割りを廃止し、柔軟な相互連携が大切だと思います。また、事業として具体化できる、さらには稼げる事業とするために、本当の意味で効果的な「産官学連携」を期待します。	ご意見を踏まえ、1ページに、「基本姿勢」の項目を追加し、その中で「多様な主体との緊密な連携のもと、県民のみなさんとともに「新しいいばらきづくり」に挑戦します」と記載いたしました。政策ビジョンを実現するため、今まで以上に連携を重視して取り組んでまいります。
2	政策ビジョン全般	若者に選ばれるような、茨城で働く様々な人をイメージし、そのライフスタイル、暮らしぶりを高められるような、総合的な政策（政策パッケージ）を期待している。	ご意見を踏まえ、1ページに、「基本姿勢」の項目を追加し、その中で「分野横断的な政策を推進」と記載いたしました。政策ビジョンを実現するため、様々な政策を総動員し、総合的に課題解決を図ってまいります。
3	政策ビジョン全般	県職員と民間非営利組織との接点を増やす取り組みをさらに一層進めていただきたい。以下の施策を実施していただきたい。 1. 新しい公共推進委員会（協働を推進する委員会）の設置 2. 新しい公共推進指針に掲げられた3つの戦略の具体化 3. 新しい公共推進コーディネーター（仮称）の育成（協働を推進するコーディネーター）	本ビジョンは政策の方向性を示すものでありますことから、具体的な事業については記載しないこととしておりますが、今後、NPO団体等と連携した事業の参考とさせていただきます。
4	基本理念	もっと大局的に、日本国内で茨城県はこうだと言う「かたち」を明示してほしい。それがなければ、近い将来こういう「かたち」にしたという指針をだして欲しい。鳥瞰的図面が欲しい。	本ビジョンを踏まえ、来年9月を目途に策定する「新たな茨城県総合計画」において、本県の将来像や地域のグランドデザインなどを示してまいります。

【 I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ】

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
5	①科学技術を活用した新産業育成、中小企業の成長支援 [施策の方向性] 【中小企業支援】	一緒にNPO法人に対する会計支援に取り組み、NPO法人への県民の信頼性を向上させたい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、個別の事業について記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、NPO団体等と連携した事業の参考とさせていただきます。
6	①科学技術を活用した新産業育成、中小企業の成長支援 [施策の方向性] 【中小企業支援】	茨城県として、ディスラプティブ・イノベーションによる新商品開発と、世界への道をサポートすることが、中小企業にとって大切だと思います。そのための施策のご検討をお願いします。	頂いたご意見内容のような、県内中小企業が保有する従来技術の組合わせによる新製品の開発支援や企業が直接海外市場と繋がる取組に対する支援(海外バイヤーとの商談の場の設定等)は既に県としても取り組んでいるところですが、本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業は記載しないこととしております。 今後の県総合計画の策定作業の中で、ご意見の趣旨を取り入れることも含め具体的な施策について検討してまいります。
7	②質の高い雇用の創出 [施策の方向性] 【企業誘致】	茨城空港のポテンシャルを最大限に活かし、航空機整備工場を誘致してはどうか。(LCC等の整備委託)	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業や地域については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
8	②質の高い雇用の創出 [施策の方向性] 【未来を担う人づくり】	外部に「魅力」を発信するコンテンツ業の育成の必要性を、県内企業・団体に対して説くとともに、コンテンツ産業の育成を図るべき。 また、国内でも珍しいメディア芸術科を持つ県立笠間高校に漫画コースを新設してはどうか。	コンテンツ産業は世界的にも大都市部に集中する傾向があり、地方において育成するには様々な課題があるものと思料されますが、県として、まずはクリエイターの人材育成と県内企業等によるコンテンツ活用の促進、さらにクリエイターと企業等とのビジネスマッチングに一層取り組み、県内における振興を図ってまいります。 ご意見を踏まえ、2ページの施策の方向性の(4)について、以下のように修正しました。 (4)産業の担い手である技能労働者の育成・確保や能力向上を促進するとともに、後継者などによる新機軸・業界転換などの経営革新を支援するほか、AIやIoTなどの新技術、さらにはコンテンツ産業などに関する幅広い人材の育成に取り組みます。 また、笠間高校では、CGIによるアニメーションの動く原理を理解し、シナリオや絵コンテの作成等が学べます。県では、社会の変化や生徒の多様化及び中学校卒業差数の減少等に適切に対応するため、第2次県立高等学校再編整備の基本計画(H23年度～H32年度)に基づいて学科改編等を行っているところです。いただいたご意見につきましては、今後次期県立高等学校再編整備の計画を策定するうえで参考とさせていただきます。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
9	③「強い農林水産業」の実現 [施策の方向性] 【農林水産業の振興】	戸別所得補償・価格保障制度が必要。 県独自の農家や漁業者を支援する制度を作してほしい。	米、麦、大豆などについては、販売収入額が一定程度減収した場合に補てんされる制度(ナラシ対策)が、野菜についても市場価格が下落した場合に、基準価格との価格差の一部を交付する野菜価格安定対策事業があります。加えて、平成30年度からは、収入保険制度も開始されますので、生産者にこうしたセーフティネットへの加入促進を図ってまいります。 漁業については、不漁などによる減収を補填する共済制度の充実が図られておりますので、これらが十分活用されるよう引き続き加入促進に努めてまいります。
10	③「強い農林水産業」の実現 [施策の方向性] 【農村漁村の活性化】	農山漁村の活性化に、観光、生活文化、教育などの幅広い予算の総合的な活用をしてほしい。	県ではこれまで、庁内の各部局はもちろん、市町村や関係団体等とも連携して地域資源を活用した農山漁村の活性化などに取り組んできたところです。 今後も引き続き、幅広い予算や人材等の活用を通して積極的に農山漁村の活性化に取り組んでまいります。
11	④かけがえのない自然環境の保全・再生 [施策の方向性] 【自然環境の保全】	生物多様性の観点から“あらゆる命を慈しみつつ、生態系を守る”という意味での「保全」をお願いしたい。 ①絶滅が危ぶまれる希少種植物への対策。減少傾向にある動植物の全面的な調査及び対策。 ②各市町村が制定している「花・木・鳥」などの、保全管理状況の調査及び対策	茨城の生物多様性戦略に基づき、人間も生態系の一員という認識に立ち、生物多様性の保全に取り組んでまいります。 また、絶滅の恐れのある動植物をレッドデータブックとしてまとめ、今後も希少動植物の保全・保護を進めてまいります。 さらに、各市町村における生物多様性地域戦略の策定を支援するなどにより、地域における特色ある自然の保全・保護を推進してまいります。 本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、個別具体の施策については記載しないこととしておりますが、ご意見については、今後の事業運営の参考とさせていただきます。
12	④かけがえのない自然環境の保全・再生 [施策の方向性] 【自然環境の保全】	自然環境の保全・再生の前に、他府県にない特徴の整理と発掘が先。	県では、生物多様性保全の重要性について普及啓発を進めており、今後とも本県特有の希少なかけがえのない自然への理解を深めてまいります。 ご意見については、今後の事業運営の参考とさせていただきます。
13	④かけがえのない自然環境の保全・再生 [施策の方向性] 【自然環境の保全】	「県民総ぐるみによる地球温暖化対策」の推進に当たっては、この研究会をご活用頂きたい。	県民総ぐるみによる地球温暖化対策の推進にあたっては、あらゆる主体が相互に連携することが重要となりますが、個別の団体名については記載しないこととしております。ご意見の内容につきましては、参考とさせていただきます。
14	④かけがえのない自然環境の保全・再生 [施策の方向性] 【エネルギー対策】	家畜排せつ物を利用したバイオマス発電について調査研究の価値はある。	施設建設費用や消化液処理等の課題がありますが、今後とも家畜排せつ物のバイオマス発電利用について検討してまいります。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
15	④かけがえのない自然環境の保全・再生 [施策の方向性] 【エネルギー対策】	従来の大規模発電に頼るだけでなく、地域ごとに小規模のエネルギーを持つことにより、効率をよくし温暖化を防ぐことにつながるため、エネルギー供給は小さな単位で小規模である方が良い。また、再生エネルギーの導入とセットで、「節電」を意識すると「環境への負荷が低い社会、環境づくり」につながる。人の意識も変えていくことが、温暖化防止につながると考える。	本県では、県民の皆様にご家庭や職場で「節電」や「省エネ」を意識していただくため、年間を通じて環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」を推進しています。 本取組を広めていくことで、県民の皆様が地球温暖化に関する意識を高めてまいりたいと考えております。 ご意見の内容につきましては、今後エネルギー対策に取り組むうえで参考とさせていただきます。
16	⑤多様な働き方の実現 [施策の方向性] 【女性が活躍できる環境づくり】	女性の活躍には、仕事(労働)の面だけでなく、地域社会での活動や様々な分野でのボランティア活動等も含まれることが分かる表現にした方が良いのではないかと。	ご指摘のとおり、女性の活躍の場は、仕事の分野に限られるものではありません。 このため、現状と課題の部分では、仕事の分野だけでなく、「あらゆる分野で活躍する」という表現を入れ、施策の方向性の(1)の「政策・方針決定過程への女性の参画促進、女性人材や女性リーダーの育成」については、地域活動を含めたあらゆる分野を想定し、記載したものになります。 さらに、別にご意見いただきました「男性の家事・育児等への参画促進」を加え、あらゆる分野での女性の活躍に向け、様々な施策に取り組んで参ります。
17	⑤多様な働き方の実現 [施策の方向性] 【女性が活躍できる環境づくり】	[施策の方向性]の中に、男性の意識改革、男性の家事・育児への参加も記載すべきである。	ご指摘を踏まえ、4ページの【女性が活躍できる環境づくり】(1)を以下のとおり修正します。 (1)事業者や団体のトップの意識改革を促進し、女性が希望に応じた働き方のできる環境づくりを進めるとともに、政策・方針決定過程への女性の参画促進、女性人材や女性リーダーの育成、男性の家事・育児等への参画促進などに取り組みます。
18	⑤多様な働き方の実現 [施策の方向性] 【ワーク・ライフ・バランスの推進】	県内産業の育成と公共工事の品質確保の観点から、県内の公共団体に適切な対応のご指導をお願いしたい。茨城県として、県内の公共団体へ適切な対応をご指導いただければ、建設関連業の生産性は2倍にも3倍にもなり、働き方の改革、長時間労働の是正にも繋がります。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、「県としての市町村指導」については具体的なご要望であるため、ご意見の内容はビジョンに反映いたしません。今後とも会議の場などを活用し、市町村に対する情報提供や意見交換を行うとともに、公共工事の適正な発注事務に努めてまいります。

【Ⅱ 「新しい安心安全」へのチャレンジ】

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
19	⑥県民の命を守る地域医療・福祉の充実 [施策の方向性] 【医療・福祉人材の確保】	医師不足については、大きな不安を感じる。できる限り早期の「抜本的な対策」を講じ、地域格差がないように、医療体制、緊急医療体制の充実をお願いしたい。	医師不足をはじめとした医療提供体制、救急医療体制の充実につきましては、これまで、地域医療支援センターにおける医師不足地域への医師の派遣調整や、地域の実情に合った救急医療体制の総合的・体系的な整備に取り組んでまいりました。 安心安全ないばらきづくりのため、今後も医師不足の抜本的解決を県政の最優先課題の一つとして、地域医療の充実に全力で取り組んでまいります。
20	⑥県民の命を守る地域医療・福祉の充実 [施策の方向性] 【医療体制】	全県下対象「AED(自動体外式除細動器)普及キャンペーン」として、県庁担当部局、県医師会と今まで以上に連携、協力し、県内全地域と各関係機関、関係団体に対し、教育強化と広報・普及啓発活動を行っていききたい。 不測の災害や救急事態に県民や現場人が対応できるよう、県庁担当部局とともにより一層の教育活動支援と広報活動の強化に取り組んでいききたい。	救急医療体制につきましては、これまで、受け入れ体制や搬送体制など、総合的・体系的な整備に取り組んでまいりました。 いただいたご意見を参考に、医療職に対する教育の強化や県民に向けたAEDの普及啓発に取り組んでまいります。
21	⑦健康長寿日本一 「施策の方向性」 【保健・福祉サービスの充実】	切り捨てられた介護サービスを補うための地域包括ケアシステムの構築が、人手不足により進まず、まったく追いついていない。 市町村ではできないところを県で補い、具体的で実効性のある施策により、誰もが安心して暮らせるまちをつくっていく強いリーダーシップを発揮してほしい。	ご賛同をいただいた施策の方向性に基づき、市町村において必要な支援を提供することはもちろん、自立支援・重度化防止につながるようなサービスの充実を図ることができるよう、県が具体的な方向性を示し、支援してまいります。
22	⑦健康長寿日本一 [施策の方向性] 【健康づくり】	元気な高齢者による農業・漁業への参画を進めるため、以下の施策を提案します。 ・企業の人事担当者との連携し、定年退職者の就農啓発説明会の実施 ・市民農園などでの技術指導 ・退職者向け農業技術講習会の開催(直売所などで販売するまでの説明) ・講習会履修者のネットワーク形成支援 ・履修者への技術指導フォローアップ ・高齢者などが主体となった事業者への支援制度の充実、活用と周知	県では、定年退職者を含む就農希望者と農業法人のマッチングや、県立農業大学校における基礎的な農業技術研修等の技術習得を支援しておりますので、今後とも高齢者による農業への参画機会の創出を進めてまいります。
23	⑦健康長寿日本一 [施策の方向性] 【健康づくり】	下記の取組を行ってほしい。 ・退職前の地域デビュー講座を企業の人事担当者やNPOと連携して実施。 ・シニアに活躍いただきたいボランティア・メニューを、中間支援組織と連携して、地域の市民団体から情報を得ながら一覧化し、発信する。 ・シニアが中心となった団体に対しての、優先的な補助や事業契約。	超高齢社会を迎える中、御意見のありました「高齢者の活力を地域に活かすための環境づくり」のための取組みは大変重要なものと認識しております。 しかしながら、本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業については記載しないこととしております。いただいた貴重な御意見につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
24	⑦健康長寿日本一 [施策の方向性] 【健康づくり】	在来種(固定種)を掘り起こし、復活させ、その野菜を茨城の食卓にのせてほしい。	在来種の種子については、農業分野の遺伝資源を収集・保存する国の研究機関であるジーンバンクに、県内の「あかねぎ」、「浮島大根」、「貝地たかな」等が保存されているほか、常陸太田市の「種継人の会」など保存活動を主体的に行う事例があります。県では県北地域で古くから栽培されている大粒の花豆を基に育成した「常陸大黒」の生産が継続できるよう種子の確保に努めており、今後とも在来種を活用した特色ある産地づくりを進めます。
25	⑧障害児・障害者福祉の充実 [施策の方向性] 【支援体制の充実・社会参加】	福祉的ニーズの高い方やその理解者を対象とした婚活パーティー開催を提案する。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
26	⑨安心して暮らせる社会づくり	「安心して暮らせる社会」の「安心」は個人によって異なる。定義を明確化するべきではないか。	本ビジョンにおいては、「安心して暮らせる社会」を、県民一人ひとりが地域社会においていきいきと生活できる社会と考えており、生活支援サービスの確保や生活に密着する治安、交通安全なども含めて、「安心して暮らせる社会」づくりと整理しております。
27	⑨安心して暮らせる社会づくり [施策の方向性] 【生活支援サービスの維持・確保】	移動支援ボランティア育成のための研修、市民団体の設立に注力していただきたい。 それを支える中間支援組織(主にNPOセンター)への財政的支援も含めた支援をお願いしたい。 新たな総合事業で中心となる市町村の動きが活性化するように、限りある予算を有効活用して、人材発掘と育成、団体設立支援など、効果的な取り組みを県行政としても促していただきたい。	施策の方向性にはご賛同を頂いたものと考えますので、具体の施策の展開に当たっては、ご意見を踏まえ、市町村の取組を最大限支援できるよう、これまで養成してきた生活支援コーディネーターに対するフォローアップや、全国的な先進事例に関する情報提供など、実効性のある取組を実施してまいります。
28	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【防災】	今後の防災対策には、土地条件図のご活用と、マイ・タイムラインプロジェクトへのご支援・ご協力をお願いしたい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業や地域については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後の防災対策や個別事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
29	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】	東海第2原発の再稼働・20年延長を認めず廃炉を求めるべき。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままとなりますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
30	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】	東海第2原発の再稼働はしないしてほしい。広域避難計画は、全く現実的ではない。 「原子力教育」についても、危険性についても充分理解できるような内容にしてほしい。 廃炉の技術で先進的な役割を果たしてほしい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままいたしますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築のほか原子力教育に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。
31	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】	東海第2原発は再稼働を認めず廃炉を強く求めるべき。 茨城県でも原子力安全対策委員会による福島原発事故の検証をしっかりと行うべき。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままいたしますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。
32	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】	東海第二原発の再稼働を許さず、廃炉にするよう日本原電に求めてほしい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままいたしますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。
33	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】	どうかキツパリと原発再稼働を拒否して、先の長い廃炉の道を示してほしい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままいたしますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。
34	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】	街づくりの第一は安全の上です。東海第二発電所を再稼働させて未来の生活ビジョンは無い。まず脱原発が政策ビジョンの第一歩です。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままいたしますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。
35	⑩災害に強い県土づくり [施策の方向性] 【原子力安全対策】 【危機管理体制】	東海第二原発や再処理工場など核関連施設については、小手先の安全対策強化や避難計画策定では県民の安心・安全は守れない。どんなに立派な避難計画を作っても、実現可能性は見込めない。	本ビジョンに記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んで参ります。なお、ご意見につきましては、今後の取組において参考にさせていただきます。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
36	⑩災害に強い県土づくり 【施策の方向性】 【原子力安全対策】 【危機管理体制】	「実効性のある原子力防災」のためには、何よりも、老朽化してリスクの大きい東海第二原発は再稼働させずに廃炉にすることが必要不可欠と考えます。そのことを「新しい茨城づくり」政策ビジョンに明記すべき。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであることから個別の施設については記載しないこととしており、原案のままいたしますが、原案記載のとおり、県民の安心・安全を最優先に、東海第二発電所を含む県内原子力施設に係る原子力安全対策の徹底、原子力防災体制の構築等に取り組んでまいります。なお、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいて参考とさせていただきます。
37	⑩災害に強い県土づくり 【施策の方向性】 【危機管理体制】	住民票がない避難者の「避難行動要支援者名簿」への登録を行ってほしい。	ご意見につきましては、市町村の所管事務であることから、原案のままいたしますが、ご意見を踏まえながら、今後、市町村としっかりと連携を図ってまいります。

【Ⅲ 「新しい人財育成」へのチャレンジ】

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
38	①次世代を担う「人財」育成 【施策の方向性】 【人材育成】 【家庭・地域の教育力】	謙虚に学ぶ姿勢が欠如している。「茨城の3っぼい」から脱却する必要がある。	ご意見につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
39	①次世代を担う「人財」育成 【施策の方向性】 【人材育成】	サポステに無料職業紹介所の機能を付与してほしい。	ご意見につきましては、国の所管事務であるため、原案のままとなりますが、サポステの機能付与等については、利用者の利便性の向上等を図る上で有用な点もあると考えられます。 ご意見につきましては、今後、県内のサポステ及び無料職業紹介事業を所管する茨城労働局との連携において、参考とさせていただきます。
40	①次世代を担う「人財」育成 【施策の方向性】 【人材育成】	若者無業者への支援には、駅近くにハローワークやジョブカフェ、サポステが集結した総合就労支援施設を開設することが有効である。	ご意見内容のような利用者の利便性等への配慮は、必要な視点の一つであると考えられますが、ハローワーク、サポステは国の所管事務であるため、原案のままとなります。 若者が抱える問題がますます複雑・多様化する中、関係機関が横断的な連携体制を構築し、必要な情報を共有しながら、支援の充実を図っていくことが重要となっておりますので、今後の取組の参考とさせていただきます。
41	①次世代を担う「人財」育成 【施策の方向性】 【人材育成】	社会で役に立つ人材育成に向けて、茨城県として、学校教育や企業研修などに、「リーダーシップとチームワーク」研修プログラムの導入検討をお願いします。	ご意見につきましては、ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事の様々な場面において、生徒が所属するそれぞれの集団の中で、個人と個人、個人と集団、集団相互が互いに作用し合いながら、リーダーシップやチームワークを含め、生徒の全人的な発達を図っているところです。 今後も、目標に向かって皆で努力する体験的な活動を大切にすることで、リーダーシップやチームワークの育成を図り、社会に役立つ人材の育成に取り組んでまいります。
42	①次世代を担う「人財」育成 【施策の方向性】 【家庭・地域の教育力】	ふるさと本位の郷土教育をお願いしたい。	現在の郷土教育に関する事業（「いばらきっ子郷土検定事業」「いばらきの魅力再発見事業」）においても、児童・生徒が郷土（茨城県や住んでいる地域）の良さを知ること、郷土愛が醸成されるような取組を行っております。 本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な手立てや方法については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業を推進するうえで参考とさせていただきます。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
43	⑫教育環境の充実 [施策の方向性] 【教育体制の充実】	スクールバスの保護者負担の軽減のため、県の補助を充実し、スクールバス代を無料にしてほしい。また、学校給食費の無料化とともに、地元産の農産物の利用拡大を図ってほしい。	市町村立学校のスクールバスの運行や学校給食の調理・提供につきましては、設置者である市町村の所管事務であることから、ご意見を踏まえながら、今後、市町村としっかりと連携を図ってまいりますとともに、今後の事業等に取り組むうえで参考とさせていただきます。 また、教職員を対象に、地場農産物の利用に関する理解を深めるための事例研究セミナーや農産物の産地や流通・加工の現場の状況について理解を深めるため産地視察研修会等を開催しており、今後とも学校給食への地元農産物の利用拡大を図ってまいります。
44	⑫教育環境の充実 [施策の方向性] 【教育体制の充実】	現場(特に民間)の実務経験者が児童・生徒・学生にレクチャーできる機会を、茨城県として戦略的に増やしてほしい。	小学校、中学校、高等学校において、各学校段階にわたる体系的、系統的なキャリア教育を行っているところであり、また、県内大学においても企業経営者等からの講義が行われているところです。 引き続き、勤労観や職業観の醸成などに努めてまいります。
45	⑫教育環境の充実 [施策の方向性] 【高等教育機関の誘致・大学などとの連携の推進】	常陸那珂地区への茨城高専移転または新たなIT系の大学誘致を検討してほしい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な地域については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで地域特性を考慮するなど、参考とさせていただきます。
46	⑬日本一、子どもを産み育てやすい県 [施策の方向性] 【結婚・出産・子育て支援】	異性と出会う機会が限定されている茨城の農家、漁業従事者を集めた、首都圏での婚活行事開催を提案する。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
47	⑬日本一、子どもを産み育てやすい県 [施策の方向性] 【結婚・出産・子育て支援】	下記事業案を提案する。森林湖沼環境税などを活用した支援を行ってほしい。 (1)木のおもちゃ広場の推進 ・トイキャラバンの開催 ・保育園、幼稚園、子育て支援センターへの木育推進 「木のおもちゃ広場」を出前講座し、環境教育等を織り交ぜながら、木のおもちゃで楽しく遊ぶ場の提供。 (2)木のおもちゃ広場サポーター養成 養成講座を行い、県内各所に同レベル、同知識を保有したサポーターを養成する。広場開催時に積極手に支援いただけるような仕組みを作る。	森林・林業体験学習事業における対象者の拡大やサポーターの養成等については、森林・林業に対する県民意識醸成という幅広い視点の中で、今後検討してまいりたいと考えております。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
48	⑬日本一、子どもを産み育てやすい県 [施策の方向性] 【貧困対策】	茨城県内の学習支援事業の輪を共に拡大していくために、以下の3つの取り組みを求めます。 (1)ネットワークづくり支援 (2)学習支援や子ども食堂に関する調査・研究 (3)学習支援・子ども食堂事業に対する財政支援の強化	貧困の状況にある子どもが、健やかに育成される環境の整備を本ビジョンに掲げております。本ビジョンはあくまで政策の方向性を示すものであり、具体的な事業は記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
49	⑬日本一、子どもを産み育てやすい県 [施策の方向性] 【貧困対策】	食品寄贈受取箱の設置について協力してほしい。具体的には、広報紙「ひばり」への掲載や県庁者、県内高校への設置、防災備蓄品の寄贈、職員OB・OGによる定年後の社会貢献活動としてのボランティア活動など。	本ビジョンは、政策の方向性を示すものであり、具体的な事業については記載しないこととしております。今後、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境の整備を進める中で、食品ロスの削減の観点も含め、頂いたご意見を参考とさせていただきます。
50	⑭学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり [施策の方向性] 【生涯学習】	「身近な社会教育施設の機能充実や利用促進に努め」の次に「るとともに、ICTの積極的な活用を図り」を加える。	ご意見を踏まえ、16ページの「身近な社会教育施設の機能充実や利用促進に努め」の次に「るとともに、ICTの積極的な活用を図り」を追加しました。
51	⑭学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり [施策の方向性] 【スポーツ振興】	総合型地域スポーツクラブについて、スポーツ振興の助成金が活用できる事業をしっかりと各市町村に伝達し、自治体間のサービス格差を縮小してほしい。	本ビジョンは、政策の方向性を示すものであり、具体的な実務等については、記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後、事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
52	⑮人権を尊重し、多様性を認め合う社会づくり [施策の方向性] 【ダイバーシティ社会の構築】	外国児童生徒の指導環境整備に関する小中学校の管理職を対象にした研修、保護者との面談時の通訳の予算措置、県立高校入試の外国人特例選抜の見直しを実施してほしい。 本県産業の国際化において、現場の学校の状況を把握し、他県の取り組みも踏まえ、本県のもう一つのグローバル人材育成の指針、計画を策定することを提案する。	県立高等学校等では、自国文化や異文化の理解を深めるため、各学校の実態に応じた国際交流に取り組んでおります。今後も継続して国際交流の取組の充実に努めてまいります。 また、グローバル人材の育成につきましては、「いばらきグローバル化推進計画」(H28～32)を策定しているところであり、いただいたご意見は、今後、事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。

【IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ】

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
53	<p>⑩魅力度No.1プロジェクト [施策の方向性] 【PR戦略】</p> <p>⑪ピジット茨城 ～新観光創生～ [施策の方向性] 【国際観光・国際交流】</p>	<p>「日本ならではの」サブカルチャー系メディアを使った情報の多言語による発信や「パワー」と「癒し」をキーワードにしたアピールをしてほしい。</p> <p>また、県内交通要地から、観光地までのよ効率的な交通機関の整備や交通手段の運賃支払、観光地での食事・土産物の購入等のスマートフォンを使った決済を可能してはどうか。</p>	<p>ビジョン(案)の「施策の方向性」において、PR戦略として戦略的な情報発信、新しい手法による発信力強化を掲げておりますほか、外国人観光客の受入体制の整備を掲げております。</p> <p>上記の政策の方向性に基づき、事業に取り組んでまいりますので、ご意見の内容につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
54	<p>⑩魅力度No.1プロジェクト [施策の方向性] 【PR戦略】</p>	<p>民間企業やNPOなどと連携して、各地域で県民それぞれが茨城県の魅力について考え、話し合い、発信方法やそれぞれができることについて検討するワークショップを開催してほしい。</p>	<p>企業や団体、大学などとの連携により、全県一体となって魅力の発信に取り組むことが必要でありますので、ご意見を踏まえ、県民それぞれが本県の魅力について検討する機会について、今後検討してまいります。</p>
55	<p>⑩魅力度No.1プロジェクト [施策の方向性] 【PR戦略】</p>	<p>茨城県と言うあまりイメージの良くない(あるいは、イメージのない)名前を出さずに、水戸や鹿嶋、つくば、日立と言った全国区の名前とイメージを全面に押し出し、それらを積極的に売り込むことが大切だと思います。そして、それらの集合体は実は茨城県です、と伝えた方が効果的ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見にありますように、水戸やつくば、鹿島アントラーズや横綱稀勢の里関など、全国的に知名度があるものと「茨城」のイメージが結びついていない状況がありますので、これら全国的に知名度があるものと「茨城」が結びつくような情報発信に努めてまいります。</p>
56	<p>⑩魅力度No.1プロジェクト [施策の方向性] 【県民意識の向上】</p>	<p>「県民一人一人が、本県の歴史や伝統・地域特性を理解」することが大事。そのために、「謙虚」に「学ぶ」風土を醸成構築する必要がある。</p>	<p>ご意見につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。</p>
57	<p>⑩魅力度No.1プロジェクト [施策の方向性] 【県民意識の向上】</p>	<p>自分たちの地域の有する素晴らしい資源に気づいていない「茨城県民向けのPR」を積極的に行い、その上で、茨城県民が地域の資源、衣食住を満喫できる仕掛けづくり(「まちづくり」ではなく「まちつかい」、まちを使う仕組みづくり)を積極的に展開してはどうか。</p>	<p>ご意見にありますように、県民自らが自らの住む素晴らしい地域資源に気づき、さらには、自分たちが誇りに思っている本県の暮らしやすさなどの魅力を発信していくことが必要でありますので、郷土の資源や魅力を知るための県民向けのPRについても積極的に取り組んでまいります。</p>
58	<p>⑪世界に飛躍する茨城へ [施策の方向性] 【ベンチャー支援】</p> <p>⑫発展を支える社会資本の整備と住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【社会資本の整備・活用】</p>	<p>つくばシリコンバレー構想を推進してほしい。あわせてTXの県内延伸と、市内バスの充実を図ってほしい。</p>	<p>我が国を代表する高水準の研究・教育機能が集積する筑波研究学園都市の機能を活かし、関係機関と連携の上、一大産業複合都市の育成を目指すとともに、つくばの科学技術から絶え間なくイノベーションを創出する取組や、ロボットの社会実装に向けた取組を推進してまいります。</p> <p>なお、本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な地域については記載しないこととしておりますが、交通インフラの整備にかかるご意見につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。</p>

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
59	⑱ビジット茨城 ～新観光創生～ [施策の方向性] 【新観光創生】	茨城県は、河川や海岸など水に恵まれた全国有数の県であり、多彩な観光拠点等を世界に誇れるものになるよう、海浜地域におけるリゾート構想を展開してほしい。	ビジョン(案)の「施策の方向性」においては、新観光創生として、里山・海浜リゾートなどの新しい観光を創造することを掲げております。 ご意見につきましては、海浜リゾート創造に向けた取組の具体例として参考とさせていただきます。
60	⑱ビジット茨城 ～新観光創生～ [施策の方向性] 【新観光創生】	北茨城市のガラス工房シリカおよび童謡の森ふれあいパークを中心に、各種作家に住んでもらい、芸術村として整備することを検討してほしい。 また、宿泊を伴う体験型学習施設を整備や、地元作家の展覧会を五浦天心記念美術館で行うことで県北振興に繋がると思う。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な地域や取組内容については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組みうえで参考とさせていただきます。
61	⑱ビジット茨城 ～新観光創生～ [施策の方向性] 【国際観光・国際交流】	とても日本らしい風景や文化を有する茨城の資源を大切に、茨城そのものの文化を、大切に守り育て、そのまま世界に発信していくことが、国際観光・国際交流の大きな武器になるのではないか。	ビジョン(案)の「施策の方向性」において、PR戦略として戦略的な情報発信、新しい手法による発信力強化を掲げておりますので、ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
62	⑱ビジット茨城 ～新観光創生～ [施策の方向性] 【新観光創生】	茨城県では、圏央道以南の「大東京圏」(都市型リゾート)、圏央道と北関東道間の「東京近郊リゾート圏」(鹿島灘や霞ヶ浦、筑波山、渡良瀬遊水地、利根川などのビッグな自然環境が豊富)、北関東道以北の「地方都市圏・里山」(日本の伝統的な里山の風景)に分けられる。 3つのゾーンの特徴を最大限に活かし、国内外から茨城県を来訪する観光客を、圏央道や北関東道などの横軸を効果的に活用し、魅力的な都市と地域に案内する仕組みづくりが大切。	ビジョン(案)の「施策の方向性」においては、新観光創生として、里山・海浜リゾートなどの新しい観光を創造することを掲げております。 ご意見につきましては、地域の特性を活かした観光資源の磨き上げや、広域交通ネットワークを活用した誘客促進の取組の参考とさせていただきます。
63	⑲茨城国体・全国障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功 [施策の方向性] 【大規模スポーツイベントを活用した地域振興】	大規模スポーツイベントに合わせて、会場周辺や沿線に、地域住民とNPOと連携して花のプランターや雑草狩り、清掃を進めてほしい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものでありますことからご意見につきましては、原案のままいたします。 現在も国体等に向けて類似の事業を実施しており、関係機関やNPO団体等と連携した事業の参考とさせていただきます。
64	⑳発展を支える社会資本の整備と住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【社会資本の整備・活用】	東北新幹線の乗客は「大宮」を出たあと栃木の「小山」に着いても、茨城を通過したことを知らない。東北新幹線の通る、「茨城古河」「常陸古河」名の新駅を設置を提案する。	本ビジョンにつきましては、具体的な事業や地域については記載しないこととしておりますが、今後の社会資本の整備やまちづくりに取り組む上での参考とさせていただきます。
65	⑳発展を支える社会資本の整備と住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【社会資本の整備・活用】	TXの土浦延伸を検討してほしい。さらに石岡と茨城空港を結んでほしい。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な地域については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組みうえで参考とさせていただきます。

	意見対象箇所	意見要旨	意見への対応
66	⑩発展を支える社会資本の整備と 住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【社会資本の整備・活用】	チャーター便を含めた路線拡充を図るための方策として、民間滑走路に面した航空機整備格納庫の新設は必要と考える。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な事業については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
67	⑩発展を支える社会資本の整備と 住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【社会資本の整備・活用】	常磐線等の利便性向上のため、TXを県内延伸を検討してほしい。延伸に際しては、国の支援スキームの構築を希望する。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な地域については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
68	⑩発展を支える社会資本の整備と 住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【社会資本の整備・活用】	つくばエクスプレス及び地下鉄8号線の県内延伸は、沿線地域の将来的な方向性と一体的に考えるべき。	本ビジョンは政策の方向性を示すものであり、具体的な地域については記載しないこととしておりますが、ご意見の内容につきましては、今後事業に取り組むうえで参考とさせていただきます。
69	⑩発展を支える社会資本の整備と 住み続けたいまちづくり [施策の方向性] 【まちづくり】	歴史・伝統、芸術・文化、スポーツなど地域資源を活かした魅力ある地域づくりに向けて、県民が資源を活用した「アクティビティを高めること」こそが、幸福度の向上に繋がり、魅力度アップに繋がるはずだ、と思います。	ご意見につきましては、20ページ、「IV 新しい夢・希望へのチャレンジ」の「⑩デジタル茨城 ～新観光創生～」において、趣旨を反映しているところであります。引き続き、今後のまちづくりに取り組む上での参考とさせていただきます。